クラズ通信

麻生本校・円山校

クラズユニック小学部

令和４年８月号

2022. 8. 18発行

保護者の皆様へ　　副理事長･校医　　福島　拓

クラズ通信 ８ 月号をお届け致します。今回の特集は、「2学期をどのように過ごしたらよいか？」ということに焦点を合わせました。特に、受験学年である 6 年生は夏休み明けから**合不合テスト･組み分けテスト**と続き、各中学校のプレテストに入っていきます。四谷大塚のカリキュラムでは、夏までに全ての範囲が終わり、その上で、2学期からは全範囲にわたっての出題となります。そのため一時的に点数や偏差値が今までより低めに出てくる場合があったりして、焦る方もいるかもしれません。しかし、ここからが勝負です。テスト結果の数字というよりは、やれなかったところや大きく点を落とした箇所などきちんと見直しを図り、自分の弱い箇所、まだできていないところを確認して次の学習につなげていくことが重要です。

後期の指導は、受験学年に対しては、点数が取れない範囲、教科を中心に振り返りながら練習を重ねること、並行して志望校の過去問を解いていくことに重点をおきます。また、それ以外の学年については、知識に抜けた個所がないように、決められたスケジュール通りコンスタントに学習を進めてまいります。

夏以降、「中学受験」の追い込みと日常の充実した学習を。

文責:円山校　井尾　敦
麻生校　吉岡　祐

・学校夏休み期間の学習も終盤に差し掛かりました。今年も暑い夏でしたがどうやらピークは過ぎた感があります。コロナに注意しての日々を何とか無事に乗り切って、皆元気で新学期を迎えられることと思います。

６年生（中学受験生）**にとっては「天王山」**※の夏でしたが勿論受験を特には考えていない人、他学年の生徒にとっても夏休み期間は貴重な復習の機会でした。最初立てたはずの予定通り、きっちりと自分の目標に向かってやりきることができましたか？

※**天王山**とは昔秀吉と明智光秀の戦いがあった京都にある山、結果的に秀吉が勝ちその後の天下取りにつながったことからスポーツの世界でも勝利の分岐点として使われる言葉となった。

〇入試に向けた追い込み

入試までいよいよあと５カ月！教育大付属などは年内に入試が行われるので、残る期間は４カ月ほどしかありません。これからの期間に何をどのように進めていくかはいうまでもなく非常に重要です。こうした状況を本人もしっかりと認識し、やらなければならない科目、分野のポイントを押さえながら学習していきます。是非頑張ってほしいと思います。

〇プレテスト・合不合判定テストが月１回は必ず行われます。

模試を通して試験慣れすることはとても重要です。受験校でなくともプレテスト系はできる限り受験してみましょう。

〇大原則は徹底した復習

学習の第一目標は、既習単元の定着度アップです！算数の解法や国語の知識分野、理科社会の一行問題など、今まで習った部分を **100%に仕上げていく**ことです。過去問に触れる機会が増えるこの時期に、焦っていろいろ手を出したくなりますが、中学入試では 100 点満点は必要ありません。

<裏面に続く>

これからの時期に応用問題や初めて見た問題を解くために手を広げてしまうことは、今まで培ってきた基礎的な部分をおろそかにしてしまう危険性を伴います。基礎的な部分をもう一度確認し、自分の得点力として自信が持てたときにはじめて次のステップに進めばいいのです。合格に向けて一歩一歩、足場を固めて下さい。

〇過去問演習と入試への戦略

すでに志望校の過去問を解いてみた受験生は多いと思いますがまずは自分の**現在位置**を把握するうえで時間を計って実践することは重要です。あまり直前で行うと点数のみに一喜一憂してしまいがちなので時間的にゆとりのある早めのタイミングで実践してみて下さい。

教室だより―円山校・麻生校より

円山校　井尾　敦

「本」のある環境・「本」から受けた世界

自分の小学生の頃を思い出すと、自宅にあったのは数多くの伝記、図鑑、クラシックレコードでした。今思えば貴重な環境だったと思いますが、当時小学生だった私にはそれしかないという考えでした。両親が共働きで児童館通いでしたが、そこではたくさんの本との出会いがあり、毎日好きな本を読み漁っていました。その環境のおかげで本を読む習慣が身についたかもしれません。利用されている方も多いかもしれませんが、10 数年自宅には毎月本屋さんのセレクトで学年に応じた本が２冊届き、家族で読んでいます。結果として自分が過ごした実家と同じような環境を子供たちに提供していることを考えるとそれも不思議な感じがします。本は、実際にはなかなか会えない人の考えを知るうえで、とても重要な役割を果たしていると思います。そこで唐突ですが、最近、読んだ本を紹介します。「初耳学」という TV 出演でも有名になりました森岡毅さんの「苦しかった時の話をしようか」という本です。購入した当時は探さないと見つかりませんでしたが、少し前に本屋に立ち寄ると「１位」のところに置いてありました。彼は経営危機にあった USJ を数年で経営再建したことで有名になりました。しかし、その話ではありません。この本は副題にある通り『ビジネスマンの父が我が子のために書きためた「働くことの本質」』が書かれています。その内容の中で「自分の特性を知る方法」が書かれています。どんな進路選択が良いのだろうかと大きくなるにつれて親子ともども悩みますが、その根本解決となる答えに向けての導き方が書かれていると思います。おススメします。

“私もみんなと全く同じでした。笑“　　麻生校　吉岡　祐

月・火・木・金の 16:50 からは教室がとても賑やかになり、思い思いに小学校での出来事や家でのこと、好きなゲームのことを話してくれます。小学生なので楽しい話は身を乗り出して話しますが、肝心な勉強の話になると…。私が「時間になったから切り替えて勉強するよー！」と言うと、とても残念そうな表情になりますが、なんだかんだ各々が課題をしっかりこなしていく粘り強い姿勢に日々驚かされています。暑い夏ももう終わりです。これからも負けじと頑張ろう！！

麻生本校:001-0037 札幌市北区北 37 条西 3 丁目 3-15 011-716-7162
円山校　:064-0820 札幌市中央区大通西 23 丁目 1-1　011-613-7755

学校法人 クラズユニック

麻生本校　小中学部　　円山校　小学部

８月、９月予定の詳細は QR コードからホームページでご覧下さい。